

退 員 會

井 上 光 雄 南 村 清 二 金 丸 久 孫 福 正
 井 關 尊 二 楠 本 重 夫 羽 富 正 一 郎 大 島 信 夫

拜 受

パラオ熱帶生物研究所報告 第二卷第一號 日本學術振興會パラオ熱帶生物研究所監

訂 正

前號には意外の手ぬかりがあらうと懼れて居ましたが、果せる哉八木沼健夫氏の論文中に失態あり、同氏に深くお詫びすると共に會員各位に訂正をお願ひします。p. 125 に「第2圖 ヘリグロサツマノミダマシ *Aranecus Mellotteei Simon*」とあるのは「第1圖 サツマノミダマシ *Aranecus scyloides Boesenber et Strand*」の誤、p. 126 「ヘリグロサツマノミダマシ」とあるのは「ワキグロサツマノミダマシ」の誤です。前者は印刷所の不注意から本刷りの際斯んなことになりました。他に目次の下から15行目「丸網」は「圓網」の、p. 75 上から4行目「申上ける」は「申上げる」の、p. 100 上から12行目「キオビベツカウ」は「キオビベツカウ」の夫々誤植です。今後は正誤表を掲げますから著者にしてお氣附の際は必ず御通知下さい。

御 寄 稿 各 位 に お 願 ひ

本誌に適當の記事あらば(節足動物中甲殻類及び昆蟲類を除いた他の動物群關係)どうか御寄稿願ひます。長篇は1冊の頁數の制限から躊躇つて連載することがあります。必ず横書き。本誌の印刷所ではスマールキヤツブが揃つて居ませんので學名の命名者その他人名は並活字とし從つて下に2線を施すことは無用です。屬或はそれ以下の動物群の學名はイタリック體活字を用ひるのが當今の定法ですから此の場合は下方に1線を施し編輯者の手數を省いて下さい。學名に命名者を附隨させる場合は略記せず必ず全記して下さい。但し Boesenber et Strand は再出の場合から B. et S. として頂いた方が紙面の節約にもなり便利です。目録の場合は御使用の學名の綴りが正しいかどうか著者に於て責任をお持ち下さい。外國文のサブタイトルをお附けになる場合は語法上誤無きものをお願ひします。自信の無い場合は無理にサブタイトルを附けないで下さい。御所要の別刷數は原稿第1頁に明記願ひます。此の注意の無い場合は紙の節約上から別刷は調製致しません。別刷は30部迄送料も含めて會にて負擔致しますが特に手の込んだもの、長篇のもの、或は殖民地まで多額の送料を要する場合等は規定部數以内でも實費を請求することができます。實費學會ですから懸しからず。30部以上は超過部數の實費を頂戴致します。其の場合は別刷發送の際御負擔願ふ金額を記入した振替貯金拂込用紙を同封致しますから至急お拂込下さい。時節柄1頁に出来るだけ澤山の内容を盛らねばなりません